

# JUCE JAPAN 2018 補足資料

## 正誤表

---

本書に下記のとおり、誤りがございました、お詫びして訂正いたします。

※印刷時期により訂正済みの場合がございます。

頁.27: リスト 1.1 PluginProcessor.cpp - processBlock 関数に正弦波を生成して出力する処理を記述する

誤: `channelData[sample] = sinf(PI * 2.0f * sample / buffer.getNumSamples()) * level;`

正: `channelData[sample] = sinf(currentAngle) * level;`

## VST2.x 形式の出力について

---

Steinberg 社は VST2.x 形式のサポートを 2018 年 10 月を以て正式に終了しました。その影響で、本誌の頁.20 「1-4. VST/AU プラグインで Hello World!」で解説している内容が読者様の開発環境の実態に対応していない場合がございます。

VST2.x サポート終了の影響への対応としましては、読者様が使用している VST SDK のバージョンおよび JUCE のバージョンによって対応内容が異なります。以下にケースごとの対応を示します。

A. JUCE のバージョンが 4.2.4~5.3.2 のいずれかの場合

⇒ 本誌の内容に従うことで VST2.x 形式を出力することができます。

B. JUCE のバージョンが 5.4.0 以降 & VST SDK のバージョンが 3.6.10 以前の場合

⇒ Projucer の Global Paths 設定を開き、「VST(Legacy) SDK」の項目から VST2 SDK のパス設定を行ってからプロジェクトを保存してください。VST2 SDK のパス設定後、本誌の内容に従うことで VST2.x 形式を出力することができます。

C. JUCE のバージョンが 5.4.0 以降 & VST SDK のバージョンが 3.6.11 以降の場合

⇒ 残念ながら VST2.x 形式を出力することはできません。本誌の内容に従うと VST2.x 形式をビルドする際にエラーが発生します。VST2.x 形式を出力対象から外すことでビルド・エラーを回避することができます。出力対象から外すには、Projucer のプロジェクト設定の「Plugin Formats」の項目から“VST(Legacy)”のチェックを外してください。

## VST3 形式の出力について

---

本誌の頁.20 「1-4. VST/AU プラグインで Hello World!」で解説している通りに VST3 SDK をダウンロードしてパス設定を行っても、VST3 形式をビルドする際にエラーが発生する場合があります。これは、組み込もうとする VST3 SDK のバージョンに対して JUCE 側の対応が遅れている場合に発生します。そのような事象に遭遇した際には、Projucer の Global Paths 設定を開き、「VST3 SDK」の項目を空白にしてプロジェクトを保存してください。JUCE に同梱された VST3 SDK を使用するように切り替わり、上記のビルド・エラーが解決することがあります。